

要 望 書

～ 2016 年シーズンに向けた改革について ～

日々のクラブ経営・諸活動について、献身的な動きにあらためて感謝申し上げます。

さて、J2 で7年目となる 2015 年シーズンもアウエーでの最終戦 1 試合を残すのみとなり、J3 への降格が現実となってしまった現在、来たる 2016 年シーズンは、栃木 SC においても徹底的に負の要因を一掃し、勇気と覚悟を持って根本からの組織改革&意識改革の実施により“ゼロからのスタート”としていただくことを、ここにあらためて強く要望させていただきます。

我々、栃木 SC 後援会も、クラブ側と同様の悔しさと責務を痛感している中で、栃木 SC 支援組織としての役割を、今後とも責任を持って「継続的支援宣言」をスローガンに掲げ続け、栃木 SC を物心両面で支援していくことを、過日開催された「緊急幹事会」の場で確認しました。

しかしながら、新たなステージでの“ゼロからのスタート”となる 2016 年シーズンへの栃木 SC の経営方針および強い覚悟を確認しないことには、栃木 SC 後援会としても、前向きな幹事会メンバーを中心に今まで以上の支援活動に取り組むことは非常に難しいのが現状です。

この逆境を打破し、再び、ファン・サポーター・行政・スポンサー・クラブ・チーム、そして栃木 SC 後援会が「一枚岩」となるために・・・下記項目の早急かつ迅速な実施を要望させていただきます。

※ 要望事項 1 組織体制の確認

- ・降格に至った責任者への厳しい処遇 ⇒ 強化部長、監督の解任
(フロント担当責任者含む)

※ 要望事項 2 J2 復帰へのビジョンの提示

- ・経営計画に基づいた選手の育成など、早期に J2 へ復帰するための具体的な計画書の提示

平成27年11月20日

栃木サッカークラブ後援会
会 長 上 野 勝 弘
幹事長 金 柿 説 生
幹事会メンバー ー 同